

注3

大学番号：159

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

金沢星稜大学 人文学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人稲置学園  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局

職名・氏名 フクキョクチカサキ ヨムカチョウ コヤマ ヒロユキ  
副局長兼庶務課長 小山 裕之

電話番号 076-253-3924

（夜間） 090-2375-8464

F A X 076-253-3995

e-mail koyama@seiryu.jp  
shomu@seiryu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出

について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 人文学部

### <国際文化学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	35

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人稲置学園

## (2) 大学名

金沢星稜大学

## (3) 大学の位置

〒920-8620

石川県金沢市御所町丑10番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イナオキ シンヤ) 稲置 慎也 (平成28年4月就任)		
学長	(ミヤザキ マサフミ) 宮崎 正史 (平成26年4月就任)	(シノザキ タカオ) 篠崎 尚夫 (平成30年4月就任)	任期満了に伴う学長交替のため(30)
学部長	(カワムラ ヨシハル) 川村 義治 (平成28年4月就任)	(オカモト ヨシカズ) 岡本 芳和 (平成30年4月就任)	任期満了に伴う学部長交替のため(30)
学科長等	(オカモト ヨシカズ) 岡本 芳和 (平成28年4月就任)	(タナカ フジミ) 田中 富士美 (平成30年4月就任)	任期満了に伴う学科長交替のため(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 国際文化学科  学士(人文学)	文学関係	4年	75人	— 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75人 — —		75人 — —		75人 — —		( ) [ ]		0.59倍	
志願者数	329 — —		305 — —		345 — —		( ) ( ) [ ] [ ]			
受験者数	327 — —		300 — —		335 — —		( ) ( ) [ ] [ ]			
合格者数	101 — —		137 — —		192 — —		( ) ( ) [ ] [ ]			
B 入学者数	36 — —		37 — —		60 — —		( ) ( ) [ ] [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.48		0.49		0.8					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	36 — —	— —	37 — —	— —	60 — —	— —	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	[ ] ( )	[ ] ( )	36 — —	— —	37 — —	— —	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	35 — —	— —	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	36 — —	— —	73 — —	— —	132 — —	— —	[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	36 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	73 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就職(1人)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	132 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	241 人	1 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{73} = \boxed{1.36} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{132} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人文学部 国際文化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
英語系	基礎ゼミナール	1前	2			1	3				兼5
	Conversation Skills I	1①2③④	2				1				
	Phrase and Expression Training I	1①2③④	2			1					
	International Testing I	1①2③④	2				1				
	Reading Skills I	1①2③④	2								兼1
	Writing Skills I	1①2③④	2			1					
	Conversation Skills II	1①2③④	2				1				
	Phrase and Expression Training II	1①2③④	2			1	1				
	International Testing II	1①2③④	2				1				
	Reading Skills II	1①2③④	2								兼1
	Writing Skills II	1①2③④	2			1					
	Conversation Skills III	1①2③④	2								兼1
	Phrase and Expression Training III	1①2③④	2								兼1
	International Testing III	1①2③④	2								兼1
	Reading Skills III	1①2③④	2			1					兼1
	Writing Skills III	1①2③④	2			1					兼1
	Conversation Skills IV	1①2③④	2								兼1
	Phrase and Expression Training IV	1①2③④	2								兼1
International Testing IV	1①2③④	2								兼1	
Reading Skills IV	1①2③④	2								兼1	
Writing Skills IV	1①2③④	2								兼1	
人文系	哲学/Philosophy	1①②	2								兼1
	英米文学/English and American Literature	1①②④	2								兼1
	宗教学/Religious Studies	1①②④	2				3				兼3
	文化人類学/Cultural Anthropology	1①②④	2								兼3
	人文地理学/Human Geography	1①②④	2								兼1
	異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②②③	2			1					
	日本文学	1①②④	2								兼2
	歴史学	1①②④	2								兼2
	心理学	1①②④	2								兼1
論理学/Logic	1②②③	2								兼1	
倫理学/Ethics	1③②④	2								兼1	
社会系	経済学/Economics	1①②③	2								兼1
	日本国憲法	1①③	2								兼1
	社会調査論	1①③	2								兼1
	観光論入門/Tourism	1②②④	2								兼1
	法学	1①②	2								兼1
	政治学	1①③	2								兼1
	経営学	1①③	2								兼1
	社会学	1①④	2								兼1
	コミュニケーション概論	1①④	2								兼1
自然系	基礎数学	1①①	2								兼1
	情報リテラシー	1①③	2								兼1
	情報学	1①②④	2								兼1
	統計学	1①③	2								兼2
	自然科学概論	1①③	2								兼1
	環境学	1①④	2								兼1
	自然地理学	1①④	2								兼1
スポーツ系	健康科学演習	1①②	2								兼1
	スポーツ科学演習	1①③	2								兼1
	健康・スポーツ科学概論	1①④	2								兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
英語系	基礎ゼミナール	1①②③	2			0	1	1			兼4
	Conversation Skills I	1①2③④	2				1				兼1
	Phrase and Expression Training I	1①2③④	2			1					
	International Testing I	1①2③④	2				1				兼1
	Reading Skills I	1①2③④	2								兼1
	Writing Skills I	1①2③④	2			1					兼2
	Conversation Skills II	1①2③④	2				1				兼1
	Phrase and Expression Training II	1①2③④	2			1	1				
	International Testing II	1①2③④	2				1				兼1
	Reading Skills II	1①2③④	2								兼1
	Writing Skills II	1①2③④	2			1					兼2
	Conversation Skills III	1①2③④	2								兼2
	Phrase and Expression Training III	1①2③④	2								兼1
	International Testing III	1①2③④	2				0				兼1
	Reading Skills III	1①2③④	2			1					兼1
	Writing Skills III	1①2③④	2			1					兼2
	Conversation Skills IV	1①2③④	2								兼2
	Phrase and Expression Training IV	1①2③④	2								兼1
International Testing IV	1①2③④	2				1				兼0	
Reading Skills IV	1①2③④	2								兼1	
Writing Skills IV	1①2③④	2								兼3	
人文系	哲学/Philosophy	1①②	2								兼1
	英米文学/English and American Literature	1①②④	2								兼1
	宗教学/Religious Studies	1①②④	2				2	1			兼0
	文化人類学/Cultural Anthropology	1①②④	2								兼2
	人文地理学/Human Geography	1①②④	2								兼1
	異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②②③	2			1					
	日本文学	1①①④	2								兼2
	歴史学	1①②③④	2								兼2
	心理学	1①②③	2								兼1
論理学/Logic	1②②③	2								兼1	
倫理学/Ethics	1③②④	2								兼1	
社会系	経済学/Economics	1①②③	2								兼1
	日本国憲法	1①②③④	2								兼2
	社会調査論	1①③	2								兼1
	観光論入門/Tourism	1①②③	2								兼1
	法学	1①②③④	2								兼2
	政治学	1①②	2								兼1
	経営学	1①③	2								兼1
	社会学	1①④	2								兼1
	コミュニケーション概論	1①②④	2								兼1
自然系	基礎数学	1①②③④	2								兼2
	情報リテラシー	1①③	2								兼1
	情報学	1①①④	2								兼1
	統計学	1①③	2								兼1
	自然科学概論	1①③	2								兼1
	環境学	1①④	2								兼1
	自然地理学	1①②	2								兼1
スポーツ系	健康科学演習	1①②	2								兼1
	スポーツ科学演習	1①③	2								兼1
	健康・スポーツ科学概論	1①④	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	比較文化	1①②		2		1	2					兼2
	ワールドトピックス	1②③		2								
	日本社会と文化	1②③		2		1						
基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②		2			1					
	Language and Culture	3①②		2		1						
	Religion and Culture	3①②		2			3					
比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Asian Society and Culture	3①③		2								
	European Society and Culture	3①③		2								
	Christianity and Culture	3②④		2			1					
	Islam and Culture	3②④		2			1					
	Buddhism and Culture	3②④		2			1					
	Hinduism and Culture	3②④		2								
	American Society and Culture	3②④		2								
	African Society and Culture	3②④		2								
	Field Research Practice	3②④		2								
	Ethnic Minorities and Their Cultures	3③④①		2								
	Art and Culture	3③④①		2								
	Gender and Contemporary Society	3③④①		2								
	Japanese Folk Culture	3③④①		2		1						
	Contemporary Japanese Culture	3③④①		2		1						
	Noto Field Work	3③③		2								
	Globalization and Local Culture	3④④②		2								
	Thought and Culture	3④④②		2								
	Food and Culture	3④④②		2								
	Clothing and Culture	3④④②		2								
Housing and Culture	3④④②		2									
金沢文化演習	4①		2									
観光学系	Tourism Studies	3①		2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Hospitality	3①		2			1					
	Leisure Studies	3②		2								
	Tourism Practice	3②		1								
	Tourism Culture Practice	3②		2								
	Tourism Industry	3③		2			1					
	Tourist Destinations and History	3③		2								
	Hospitality Practice	3③		2								
	Culture and Society in Tourism	3④		2								
	Tourism Policy	3④		2		1						
	Tourism and Regional Studies	3④		2								
	Tourism Management	3④		2			1					
Tourism Information	4①		2			1						
International Development	4①		2									
英語学系	English Linguistics	2②③②		2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Practical English Grammar	2②③②		2		1						
	Interpretation Practice I	2②③②		2								
	Phonetics	2③③③		2								
	Business English I	2③③③		2								
	Translation Practice I	2③③③		2								
	Business English II	2④③④		2								
	Interpretation Practice II	2④③④		2								
	Translation Practice II	2④③④		2								
	Practice in English Linguistics	2④③④		2		1						
	Tourism English I	3①		2			1					
	English Teaching Methodology I	3①		2		2						
	Tourism English II	3②		2			1					
	English Teaching Methodology II	3②		2		2						
English Teaching Methodology III	3③		2		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	比較文化	1①②		2		0	1	1				兼2
	ワールドトピックス	1②③		2								
	日本社会と文化	1②③		2		1						
基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②		2			1					
	Language and Culture	3①②		2		1						
	Religion and Culture	3①②		2			2	1				
比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1						兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Asian Society and Culture	3①③		2								
	European Society and Culture	3①③		2								
	Christianity and Culture	3②④		2			1	1				
	Islam and Culture	3②④		2			1					
	Buddhism and Culture	3②④		2			1					
	Hinduism and Culture	3②④		2								
	American Society and Culture	3②④		2								
	African Society and Culture	3②④		2								
	Field Research Practice	3②④		2								
	Ethnic Minorities and Their Cultures	3③④①		2								
	Art and Culture	3③④①		2								
	Gender and Contemporary Society	3③④①		2								
	Japanese Folk Culture	3③④①		2		1						
	Contemporary Japanese Culture	3③④①		2		1						
	Noto Field Work	3③③		2								
	Globalization and Local Culture	3④④②		2								
	Thought and Culture	3④④②		2					1			
	Food and Culture	3④④②		2								
	Clothing and Culture	3④④②		2								
Housing and Culture	3④④②		2									
金沢文化演習	4①		2									
観光学系	Tourism Studies	2④③①		2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Hospitality	3①		2			0					
	Leisure Studies	3②		2								
	Tourism Practice	3②		1								
	Tourism Culture Practice	3②		2								
	Tourism Industry	3③		2		1	0					
	Tourist Destinations and History	3③		2								
	Hospitality Practice	3③		2								
	Culture and Society in Tourism	3④		2		1						
	Tourism Policy	3④		2		1						
	Tourism and Regional Studies	3④		2								
	Tourism Management	3④		2		1	0					
Tourism Information	3③		2		1	0						
International Development	4①		2									
英語学系	English Linguistics	2②③②		2		1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	Practical English Grammar	2②③②		2		1						
	Interpretation Practice I	2②③②		2								
	Phonetics	2③③③		2								
	Business English I	2③③③		2								
	Translation Practice I	2③③③		2								
	Business English II	2④③④		2								
	Interpretation Practice II	2④③④		2								
	Translation Practice II	2④③④		2								
	Practice in English Linguistics	2④③④		2		1						
	Tourism English I	3①		2		1	0					
	English Teaching Methodology I	3①		2		2						
	Tourism English II	3②		2		1	0					
	English Teaching Methodology II	3②		2		2						
English Teaching Methodology III	3③		2		2							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	英語学系 発展科目	English Teaching Methodology IV	3④	2		2						
		Cross-cultural Understanding	3④	2		1						
	アカデミックライティング 発展科目	Global Issues	2②③①②	2								兼3
		Debate	2③③②③	2		1						
		Academic Writing	3③	2		1						
		Thesis Writing	③④①②③	2		1						
	ゼミナール	Major Study Seminar I	③①②③	3		4						
		Major Study Seminar II	④①②③	3		4						
		Graduation Thesis	④④	2		4						
	教職科目	教職入門(中等)	1③	2								兼1
教育学概論(中等)		2①	2								兼1	
障害者教育		2②	2								兼1	
教育心理学(中等)		2③	2								兼1	
生徒・進路指導論(中等)		2③	2								兼1	
道徳教育の理論と方法(中等)		2④	2								兼1	
教育相談の理論と方法(中等)		2④	2								兼1	
教育社会学(中等)		3①	2								兼1	
介護等体験(事前・事後の指導を含む)		3①	2								兼1	
特別活動の理論と方法(中等)		3①	2								兼1	
教育課程論(中等)		3②	2								兼1	
教育方法論(中等)		3②	2								兼1	
中等教育実習・事前事後の指導		③③④①	2								兼1	
中等教育実習 I		3③	2								兼1	
中等教育実習 II		③③④①	2								兼1	
教職実践演習C(中・高)	④③	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	英語学系 発展科目	English Teaching Methodology IV	3④	2		2						
		Cross-cultural Understanding	3④	2		1						
	アカデミックライティング 発展科目	Global Issues	2②③①②	2					1			兼1
		Debate	2③③②③	2			1					
		Academic Writing	2④	2		1						
		Thesis Writing	③④①②③	2		1						
	ゼミナール	Major Study Seminar I	③①②③	3		5	4	1				
		Major Study Seminar II	④①②③	3		5	4	1				
		Graduation Thesis	④④	2		5	4	1				
	教職科目	教職入門(中等)	1③	2								兼1
教育学概論(中等)		2③	2								兼2	
障害者教育		2②	2								兼1	
教育心理学(中等)		2④	2								兼3	
生徒・進路指導論(中等)		2③	2								兼2	
道徳教育の理論と方法(中等)		2③	2								兼1	
教育相談の理論と方法(中等)		2④	2								兼1	
教育社会学(中等)		3①	2								兼1	
介護等体験(事前・事後の指導を含む)		3①	2								兼2	
特別活動の理論と方法(中等)		3①	2								兼2	
教育課程論(中等)		3②	2								兼2	
教育方法論(中等)		3②	2								兼2	
中等教育実習・事前事後の指導		③③④①	2								兼1	
中等教育実習 I		3③	2								兼1	
中等教育実習 II		③③④①	2								兼1	
教職実践演習C(中・高)	④③	2			1					兼1		

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英語系	基礎ゼミナール	1前	2			1	1					兼2	
	Conversation Skills I	1①2③④	2				1						
	Phrase and Expression Training I	1①2③④	2			1							
	International Testing I	1①2③④	2				1						
	Reading Skills I	1①2③④	2									兼1	
	Writing Skills I	1①2③④	2			1							
	Conversation Skills II	1①2③④	2				1						
	Phrase and Expression Training II	1①2③④	2			1	1						
	International Testing II	1①2③④	2				1						
	Reading Skills II	1①2③④	2									兼1	
	Writing Skills II	1①2③④	2			1							
	Conversation Skills III	1①2③④	2									兼1	
	Phrase and Expression Training III	1①2③④	2									兼1	
	International Testing III	1①2③④	2									兼1	
	Reading Skills III	1①2③④	2			1						兼1	
	Writing Skills III	1①2③④	2			1						兼1	
人文系	哲学/Philosophy	1①2②	2									兼1	
	英米文学/English and American Literature	1①2④	2									兼1	
	宗教学/Religious Studies	1①2④	2				3					兼3	
	文化人類学/Cultural Anthropology	1①2④	2									兼3	
	人文地理学/Human Geography	1①2④	2									兼1	
	異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③	2			1							
	日本文学	1②2④	2									兼2	
	歴史学	1②2④	2									兼2	
	心理学	1②2④	2									兼1	
	論理学/Logic	1②2③	2									兼1	
	倫理学/Ethics	1③2④	2									兼1	
	社会系	経済学/Economics	1①2③	2									兼1
		日本国憲法	1①④	2									兼1
		社会調査論	1①③	2									兼1
		観光論入門/Tourism	1②2④	2									兼1
		法学	1②	2									兼1
政治学		1③	2									兼1	
経営学		1③	2									兼1	
社会学		1④	2									兼1	
コミュニケーション概論	1④	2									兼1		
自然系	基礎数学	1①	2									兼1	
	情報リテラシー	1①③	2									兼1	
	情報学	1②④	2									兼1	
	統計学	1③	2									兼2	
	自然科学概論	1③	2									兼1	
	環境学	1④	2									兼1	
	自然地理学	1②	2									兼1	
スポーツ系	健康科学演習	1②	2									兼1	
	スポーツ科学演習	1③	2									兼1	
	健康・スポーツ科学概論	1④	2									兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英語系	基礎ゼミナール	1①②③	2			1	2	1				兼4	
	Conversation Skills I	1①2③④	2				1						
	Phrase and Expression Training I	1①2③④	2			1							
	International Testing I	1①2③④	2				1					兼1	
	Reading Skills I	1①2③④	2									兼1	
	Writing Skills I	1①2③④	2			1						兼1	
	Conversation Skills II	1①2③④	2				1						
	Phrase and Expression Training II	1①2③④	2			1	1						
	International Testing II	1①2③④	2				1						
	Reading Skills II	1①2③④	2									兼1	
	Writing Skills II	1①2③④	2			1						兼1	
	Conversation Skills III	1①2③④	2									兼1	
	Phrase and Expression Training III	1①2③④	2									兼1	
	International Testing III	1①2③④	2					1				兼0	
	Reading Skills III	1①2③④	2			1						兼1	
	Writing Skills III	1①2③④	2			1						兼2	
人文系	哲学/Philosophy	1①2②	2									兼1	
	英米文学/English and American Literature	1①2④	2									兼1	
	宗教学/Religious Studies	1①②③④	2				2	1				兼3	
	文化人類学/Cultural Anthropology	1①②③④	2									兼3	
	人文地理学/Human Geography	1①2④	2									兼1	
	異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③	2			1							
	日本文学	1①④	2									兼2	
	歴史学	1②③④	2									兼2	
	心理学	1②④	2									兼1	
	論理学/Logic	1②2③	2									兼1	
	倫理学/Ethics	1③2④	2									兼1	
	社会系	経済学/Economics	1①2③	2									兼1
		日本国憲法	1①④	2									兼1
		社会調査論	1①③	2									兼1
		観光論入門/Tourism	1②2④	2									兼1
		法学	1②	2									兼1
政治学		1②	2									兼1	
経営学		1③	2									兼1	
社会学		1④	2									兼1	
コミュニケーション概論	1④	2									兼1		
自然系	基礎数学	1①②	2									兼1	
	情報リテラシー	1①③	2									兼1	
	情報学	1①③④	2									兼1	
	統計学	1③	2									兼2	
	自然科学概論	1③	2									兼1	
	環境学	1④	2									兼1	
	自然地理学	1②	2									兼1	
スポーツ系	健康科学演習	1②	2									兼1	
	スポーツ科学演習	1③	2									兼1	
	健康・スポーツ科学概論	1④	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	比較文化	1①②		2		1	2					兼2
	ワールドトピックス	1②③		2								
	日本社会と文化	1②③		2		1						
基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②		2			1					
	Language and Culture	3①②		2		1						
	Religion and Culture	3①②		2			3					
比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1						
	Asian Society and Culture	3①③		2								兼1
	European Society and Culture	3①③		2								兼1
	Christianity and Culture	3②④		2			1					
	Islam and Culture	3②④		2			1					
	Buddhism and Culture	3②④		2			1					
	Hinduism and Culture	3②④		2								兼1
	American Society and Culture	3②④		2								兼1
	African Society and Culture	3②④		2								兼1
	Field Research Practice	3②④		2								兼1
	Ethnic Minorities and Their Cultures	3③④①		2								兼1
	Art and Culture	3③④①		2								兼1
	Gender and Contemporary Society	3③④①		2								兼1
	Japanese Folk Culture	3③④①		2		1						
	Contemporary Japanese Culture	3③④①		2		1						
	Noto Field Work	3③		2								兼1
	Globalization and Local Culture	3④②		2								兼1
	Thought and Culture	3④②		2								兼1
	Food and Culture	3④②		2								兼1
	Clothing and Culture	3④②		2								兼1
Housing and Culture	3④②		2								兼1	
金沢文化演習	4①		2								兼1	
観光学系	Tourism Studies	3①		2		1						
	Hospitality	3①		2			1					
	Leisure Studies	3②		2								兼1
	Tourism Practice	3②		1								兼1
	Tourism Culture Practice	3②		2								兼1
	Tourism Industry	3③		2			1					
	Tourist Destinations and History	3③		2								兼1
	Hospitality Practice	3③		2								兼1
	Culture and Society in Tourism	3④		2								兼1
	Tourism Policy	3④		2		1						
	Tourism and Regional Studies	3④		2								兼1
	Tourism Management	3④		2			1					
Tourism Information	4①		2			1						
International Development	4①		2								兼1	
英語学系	English Linguistics	2②③②		2		1						
	Practical English Grammar	2②③②		2		1						
	Interpretation Practice I	2②③②		2								兼1
	Phonetics	2③③③		2								兼1
	Business English I	2③③③		2								兼1
	Translation Practice I	2③③③		2								兼1
	Business English II	2④③④		2								兼1
	Interpretation Practice II	2④③④		2								兼1
	Translation Practice II	2④③④		2								兼1
	Practice in English Linguistics	2④③④		2		1						
	Tourism English I	3①		2			1					
	English Teaching Methodology I	3①		2		2						
	Tourism English II	3②		2			1					
	English Teaching Methodology II	3②		2		2						
	English Teaching Methodology III	3③		2		2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	比較文化	1①②		2		1	1	1				兼2
	ワールドトピックス	1②③		2								
	日本社会と文化	1②③		2		1						
基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②		2			1					
	Language and Culture	3①②		2		1						
	Religion and Culture	3①②		2			2	1				
比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1						
	Asian Society and Culture	3①③		2								兼1
	European Society and Culture	3①③		2								兼1
	Christianity and Culture	3②④		2				0	1			
	Islam and Culture	3②④		2				1				
	Buddhism and Culture	3②④		2				1				
	Hinduism and Culture	3②④		2								兼1
	American Society and Culture	3②④		2								兼1
	African Society and Culture	3②④		2								兼1
	Field Research Practice	3②④		2								兼1
	Ethnic Minorities and Their Cultures	3③④①		2								兼1
	Art and Culture	3③④①		2								兼1
	Gender and Contemporary Society	3③④①		2								兼1
	Japanese Folk Culture	3③④①		2		1						
	Contemporary Japanese Culture	3③④①		2		1						
	Noto Field Work	3③		2								兼1
	Globalization and Local Culture	3④②		2								兼1
	Thought and Culture	3④②		2					1			兼0
	Food and Culture	3④②		2								兼1
	Clothing and Culture	3④②		2								兼1
Housing and Culture	3④②		2								兼1	
金沢文化演習	4①		2								兼1	
観光学系	Tourism Studies	3①		2		1						
	Hospitality	3①		2			1					
	Leisure Studies	3②		2								兼1
	Tourism Practice	3②		1								兼1
	Tourism Culture Practice	3②		2								兼1
	Tourism Industry	3③		2			1					
	Tourist Destinations and History	3③		2								兼1
	Hospitality Practice	3③		2								兼1
	Culture and Society in Tourism	3④		2								兼1
	Tourism Policy	3④		2		1						
	Tourism and Regional Studies	3④		2								兼1
	Tourism Management	3④		2			1					
Tourism Information	4①		2			1						
International Development	4①		2								兼1	
英語学系	English Linguistics	2②③②		2		1						
	Practical English Grammar	2②③②		2		1						
	Interpretation Practice I	2②③②		2								兼1
	Phonetics	2③③③		2								兼1
	Business English I	2③③③		2								兼1
	Translation Practice I	2③③③		2								兼1
	Business English II	2④③④		2								兼1
	Interpretation Practice II	2④③④		2								兼1
	Translation Practice II	2④③④		2								兼1
	Practice in English Linguistics	2④③④		2		1						
	Tourism English I	3①		2			1					
	English Teaching Methodology I	3①		2		2						
	Tourism English II	3②		2			1					
	English Teaching Methodology II	3②		2		2						
	English Teaching Methodology III	3③		2		2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
発展科目 英語学系	English Teaching Methodology IV	3④		2		2						
	Cross-cultural Understanding	3④		2		1						
	アカデミックライティング Global Issues	2②3①②		2								兼3
		Debate	2③3②③		2		1					
		Academic Writing	3③		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
	ゼミナール	Major Study Seminar I	3①②③		3		4					
		Major Study Seminar II	4①②③		3		4					
		Graduation Thesis	4④		2		4					
	教職科目	教職入門(中等)	1③		2							兼1
教育学概論(中等)		2①		2							兼1	
障害者教育		2②		2							兼1	
教育心理学(中等)		2③		2							兼3	
生徒・進路指導論(中等)		2③		2							兼1	
道德教育の理論と方法(中等)		2④		2							兼2	
教育相談の理論と方法(中等)		2④		2							兼1	
教育社会学(中等)		3①		2							兼1	
介護等体験(事前・事後の指導を含む)		3①		2							兼1	
特別活動の理論と方法(中等)		3①		2							兼2	
教育課程論(中等)		3②		2							兼1	
教育方法論(中等)		3②		2							兼1	
中等教育実習・事前事後の指導		3③4①		2							兼1	
中等教育実習 I		3③		2							兼1	
中等教育実習 II		3③4①		2							兼1	
教職実践演習C(中・高)	4③		2		1					兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
発展科目 英語学系	English Teaching Methodology IV	3④		2		2						
	Cross-cultural Understanding	3④		2		1						
	アカデミックライティング Global Issues	2②3①②		2					1			兼2
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	3③		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
	ゼミナール	Major Study Seminar I	3①②③		3		4	5	1			
		Major Study Seminar II	4①②③		3		4	5	1			
		Graduation Thesis	4④		2		4	5	1			
	教職科目	教職入門(中等)	1③		2							兼1
教育学概論(中等)		2③		2							兼1	
障害者教育		2②		2							兼1	
教育心理学(中等)		2④		2							兼3	
生徒・進路指導論(中等)		2③		2							兼1	
道德教育の理論と方法(中等)		2③		2							兼2	
教育相談の理論と方法(中等)		2④		2							兼1	
教育社会学(中等)		3①		2							兼1	
介護等体験(事前・事後の指導を含む)		3①		2							兼1	
特別活動の理論と方法(中等)		3①		2							兼2	
教育課程論(中等)		3②		2							兼1	
教育方法論(中等)		3②		2							兼1	
中等教育実習・事前事後の指導		3③4①		2							兼1	
中等教育実習 I		3③		2							兼1	
中等教育実習 II		3③4①		2							兼1	
教職実践演習C(中・高)	4③		2		1					兼1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・履修希望者がいなかったため、「基礎ゼミナール」を5ゼミ未開講とし専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」へ、「兼5」から「兼2」に変更。
- ・履修希望者がいなかったため、「Phrase and Expression TrainingⅡ」を1クラス未開講とし専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・履修該当者がいなかったため、「Conversation SkillsⅣ」「Phrase and Expression TrainingⅣ」「International TestingⅣ」「Reading SkillsⅣ」「Writing SkillsⅣ」は配当年次を「1①②③④」から「1②③④」に変更。
- ・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当年次を「1①③」から「1①④」に変更。
- ・「統計学」をオムニバス・共同（一部）に変更。
- ・時間割調整のため、「自然地理学」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・オムニバス方式に変更したことにより、「教育心理学（中等）」の兼担数を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・オムニバス方式に変更したことにより、「道德教育の理論と方法（中等）」の兼担数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・オムニバス方式に変更したことにより、「特別活動の理論と方法（中等）」の兼担数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・複数体制の授業に変更したことにより、「教職実践演習C（中・高）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

【平成29年度】

- ・教育内容の充実を図るため、「基礎ゼミナール」の配当期を「1前」から「1①②③」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任。（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・「基礎ゼミナール」の昨年度兼担数誤表示のため「兼2」から「兼4」に修正。
- ・平成28年6月加藤隆宏講師就任辞退。「基礎ゼミナール」他に担当者が複数名いるため支障なし。
- ・平成29年4月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅠ」の兼担数を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・昨年度の誤表記修正のため、「Phrase and Expression TrainingⅡ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に修正。
- ・平成29年4月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅡ」の兼担数を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・横野成美准教授他大学就任のため、専任教員田中富士美准教授に担当の変更（平成29年3月教員審査提出済）のため、「International TestingⅢ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更及び「兼1」から「兼0」に変更。
- ・平成29年4月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅢ」の兼担数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・横野成美准教授他大学就任のため、専任教員田中富士美准教授に担当の変更（平成29年3月教員審査提出済）のため、「International TestingⅣ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更及び「兼1」から「兼0」に変更。
- ・平成29年4月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅣ」の兼担数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「宗教学/Religious Studies」の配当期を「1①②④」から「1①③②④」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退のため、平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「宗教学/Religious Studies」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Anthropology」の配当期を「1①②④」から「1①④②④」に変更。
- ・時間割調整のため、「日本文学」の配当期を「1②④」から「1①④」に変更。
- ・時間割調整のため、「歴史学」の配当期を「1②④」から「1②③④」に変更。
- ・時間割調整により、「政治学」の配当期を「1③」から「1②」に変更。
- ・木村春彦講師辞退のため、平成29年11月兼担教員にて「コミュニケーション概論」担当予定。
- ・時間割調整のため、「基礎数学」の配当期を「1①」から「1①②」に変更。
- ・時間割調整のため、「情報学」の配当期を「1②④」から「夏集中、春集中」に変更。
- ・更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「比較文化」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Religion and Culture」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Christianity and Culture」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更及び「講師0」から「講師1」に変更。
- ・平成28年6月加藤隆宏講師就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成29年3月変更書提出済）のため、「Thoughts and Culture」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更及び「兼1」から「兼0」に変更。
- ・平成28年6月加藤隆宏講師就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成29年3月変更書提出済）のため、「Global Issues」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更及び「兼3」から「兼2」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Major Study SeminarⅠ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」へ、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Major Study SeminarⅡ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」へ、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・平成27年10月高橋優子准教授就任辞退。平成29年4月栗野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Graduation Thesis」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」へ、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割調整により、「教育学概論（中等）」の配当期を「2①」から「2③」に変更。
- ・時間割調整により、「教育心理学（中等）」の配当期を「2③」から「2④」に変更。
- ・時間割調整により、「道德教育の理論と方法（中等）」の配当期を「2④」から「2③」に変更。

【平成30年度】

- ・時間割調整のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Conversation Skills I」の兼任数を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Writing Skills I」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Conversation Skills II」の兼任数を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Writing Skills II」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Conversation Skills III」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「International Testing III」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・時間割調整のため、「Conversation Skills IV」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Writing Skills IV」の兼任数を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・時間割調整のため、「英米文学/English and American Literature」の配当期を1①2④から1③2④に変更
- ・時間割調整のため、「宗教学/Religious Studies」の配当期を1①③2④から1①2④に変更。
- ・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Anthology」の配当期を1①④2④から1①2④に変更。
- ・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Anthology」の兼任数を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「心理学」の配当期を1②④から1②③に変更。
- ・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当期を1①④から1①②③④に変更。
- ・時間割調整のため、「日本国憲法」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「観光論入門/Tourism」の配当期を1②2④から1②2③に変更。
- ・時間割調整のため、「法学」の配当期を1②から1①②③④に変更。
- ・時間割調整のため、「法学」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「コミュニケーション概論」の配当期を1④から1②④に変更。
- ・時間割調整のため、「基礎数学」の配当期を1①②から1①②③④に変更。
- ・時間割調整のため、「基礎数学」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「情報学」の配当期を1②1④から1①④に変更。
- ・時間割調整のため、「統計学」の兼任数を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整のため、「比較文化」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・時間割調整のため、「Asian Society and Culture」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「Christianity and Culture」の配当期を3②④から2②④に変更。
- ・時間割調整のため、「Christianity and Culture」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・時間割調整のため、「Buddhism and Culture」の配当期を3②④から2②④に変更。
- ・時間割調整のため、「Contemporary Japanese Culture」の配当期を3③4①から2①③に変更。
- ・時間割調整のため、「Tourism Studies」の配当期を3①から2④3①に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、兼任に変更。「Hospitality」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「兼0」から「兼1」に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Industry」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「教授0」から「教授1」に変更。
- ・他大学就任で平成30年3月佐野浩祥准教授退職により、「Culture and Society in Tourism」の担当を齋藤千恵教授に変更。専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」及び「兼1」から「兼0」に変更。
- ・時間割調整のため、「Tourism Policy」の配当期を3④から3②に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Management」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「教授0」から「教授1」に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Information」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「教授0」から「教授1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Tourism Information」の配当期を4①から3③に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism English I」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「教授0」から「教授1」に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism English II」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「教授0」から「教授1」に変更。
- ・時間割調整により、「Global Issues」担当者への兼任数を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整のため、「Academic Writing」の配当期を3③から2④に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Major Study Seminar I」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」及び「教授4」から「教授5」に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Major Study Seminar II」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」及び「教授4」から「教授5」に変更。
- ・岡達哉准教授就任辞退により、「Graduation Thesis」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」及び「教授4」から「教授5」に変更。
- ・時間割調整のため、「教育学概論（中等）」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「生徒・進路指導論（中等）」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「介護等体験（事前・事後の指導を含む）」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「教育課程論（中等）」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「教育方法論（中等）」の兼任数を「兼1」から「兼2」に変更。
  
- ・他大学就任で平成30年3月佐野浩祥准教授退職により、「Leisure Studies」の担当を岡達哉教授に変更。
- ・他大学就任で平成30年3月佐野浩祥准教授退職により、「Tourism Culture Practice」の担当を岡達哉教授に変更。
- ・他大学就任で平成30年3月佐野浩祥准教授退職により、「Tourist Destinations and History」の担当を岡達哉教授に変更。
- ・他大学就任で平成30年3月佐野浩祥准教授退職により、「Hospitality Practice」の担当を岡達哉教授に変更。

(注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	107 科目	16 科目	133 科目	10 科目 [ 0 ]	107 科目 [ 0 ]	16 科目 [ 0 ]	133 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	経済学	2	1①2③	一般	選択	隔年で英語と日本語を交互で開講となったため
2	経営学	2	1③	一般	選択	隔年開講となったため
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[大学の所見]  
 例年、履修者が少人数 (5名前後) であり、隔年開講とすることで履修者を集約させることで、履修者数増による教育的効果の向上を図るものとする。  
 [学生への周知方法]  
 非開講科目については、履修登録前に全学生に周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{133} = \boxed{1.5\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考
校 地 等	(1) 区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期 大学部(必要面積3,000 m <sup>2</sup> )と共用 【借地面積】 [校舎敷地] 借用面積：4,573m <sup>2</sup> 平成26年5月1日より 借用期間：30年 借用面積：1,359m <sup>2</sup> 平成27年1月1日より 借用期間：30年 借用面積：671m <sup>2</sup> 平成27年1月1日より 借用期間：22年 借用面積：330m <sup>2</sup> 平成27年1月1日より 借用期間：30年 [運動場用地] 借用面積：3,168m <sup>2</sup> 平成26年5月1日より 借用期間30年 借用面積：1,413m <sup>2</sup> 平成27年1月1日より 借用期間30年 [その他] 借用面積：4,111.83m <sup>2</sup> 平成29年4月1日より 借用期間2年 借用面積：4,959.83m <sup>2</sup> 平成27年4月1日より 借用期間2年 借用面積：303m <sup>2</sup> 平成28年4月1日より 借用期間2年 平成26年4月1日より 借用期間2年 借地面積計 15,928.83m <sup>2</sup> 借地面積計 16,776.83m <sup>2</sup> 借用面積と借用期間の変 更 (30)
	校 舎 敷 地	-m <sup>2</sup>	35,001.00m <sup>2</sup>	-m <sup>2</sup>	35,001.00m <sup>2</sup>	
	運 動 場 用 地	-m <sup>2</sup>	34,312.79m <sup>2</sup>	-m <sup>2</sup>	34,312.79m <sup>2</sup>	
	小 計	-m <sup>2</sup>	69,313.79m <sup>2</sup>	-m <sup>2</sup>	69,313.79m <sup>2</sup>	
	そ の 他	-m <sup>2</sup>	6,649.15m <sup>2</sup> 6,599.83m <sup>2</sup>	-m <sup>2</sup>	6,649.15m <sup>2</sup> 6,599.83m <sup>2</sup>	
	合 計	-m <sup>2</sup>	75,962.94m <sup>2</sup> 75,913.62m <sup>2</sup>	-m <sup>2</sup>	75,962.94m <sup>2</sup> 75,913.62m <sup>2</sup>	
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
		3,584.48m <sup>2</sup> 3,584.50m <sup>2</sup> ( 3,584.50m <sup>2</sup> )	23,028.36m <sup>2</sup> 23,419.50m <sup>2</sup> ( 23,419.50m <sup>2</sup> )	2,003.20m <sup>2</sup> ( 2,003.20m <sup>2</sup> )	28,616.04m <sup>2</sup> 29,007.20m <sup>2</sup> ( 29,007.20m <sup>2</sup> )	
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
		38室	34室	7室	6室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		
		人文学部 国際文化学科		12 室		

(5)	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		1,468 [181] ( 1,611 [181] )	23 [15] ( 23 [15] )	8 [8] ( 8 [8] )	12 ( 12 )	( )	( )		
		1,468 [181] ( 1,611 [181] )	23 [15] ( 23 [15] )	8 [8] ( 8 [8] )	12 ( 12 )	( )	( )		
(6)	図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数					
		1,912.07㎡	270	s					
(7)	体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,974.44㎡	星稜スポーツセンター(剣道場・STUDIO・空手道場等を含む)				テニスコート6面		
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費：追加設置設備発生による変更があったため(28) 図書購入費：契約において当初見積内容に変更があったため(28) 図書費には、電子ジャーナルの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,489千円	2,367 2,750 千円	1,405千円	
		共同研究費等	208千円	208千円	設備購入費	60,770 37,631 千円	1,080千円	3,870千円	
		学生1人当り納付金	第1年次 1,302千円	第2年次 1,182千円	第3年次 1,182千円	第4年次 1,182千円	第5年次 - 千円	第6年次 - 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称		金沢星稜大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学院 経営戦略研究科	2	10	-	20	修士（経済学・経営学）	0.65	平成14年度	石川県金沢市御所町丑10番地1		
経済学部 経済学科	4	270	-	960	学士（経済）	1.15	昭和42年度	同上		平成30年度入学定員増（40）
経営学科	4	170	-	620	学士（経営学）	1.13	平成16年度	同上		平成30年度入学定員増（20）
人間科学部 スポーツ学科	4	75	-	255	学士（人間科学）	1.2	平成19年度	同上		平成30年度入学定員増（15）
こども学科	4	68	-	248	学士（人間科学）	1.12	平成19年度	同上		平成26年度入学定員増（20） 平成30年度入学定員増（8）
人文学部 国際文化学科	4	75	-	225	学士（人文学）	0.59	平成28年度	同上		
大学 の 名 称		金沢星稜大学女子短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
経営実務科	2	150	-	300	短期大学士（経営）	1.19	昭和54年度	同上		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 国際文化学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (62) <平成28年4月>	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	ピーターセン マーク フレデリック PETERSEN MARK FREDERIC (70) <平成29年4月>	Reading Skills III Writing Skills III Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ササゲ トモオ 捧 富雄 (69) <平成30年4月>	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	ヤマタ(イリモト) タカ 山田(煎本) 孝子 (68) <平成28年4月>	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ロバートソン ジェームス アール ROBERSON JAMES EARL (60) <平成28年4月>	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (42) <平成28年4月>	Writing Skills I Writing Skills II English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (62) <平成28年4月>	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis 教職実践演習C(中・高)
専	教授	ピーターセン マーク フレデリック PETERSEN MARK FREDERIC (69) <平成29年4月>	Reading Skills III Writing Skills III Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ササゲ トモオ 捧 富雄 (67) <平成30年4月>	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	ヤマタ(イリモト) タカ 山田(煎本) 孝子 (68) <平成28年4月>	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ロバートソン ジェームス アール ROBERSON JAMES EARL (60) <平成28年4月>	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (42) <平成28年4月>	Writing Skills I Writing Skills II English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (63) <平成28年4月>	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis 教職実践演習C(中・高)
専	教授	ピーターセン マーク フレデリック PETERSEN MARK FREDERIC (70) <平成29年4月>	Reading Skills III Writing Skills III Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ササゲ トモオ 捧 富雄 (68) <平成30年4月>	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	ヤマタ(イリモト) タカ 山田(煎本) 孝子 (69) <平成28年4月>	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ロバートソン ジェームス アール ROBERSON JAMES EARL (61) <平成28年4月>	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授	オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (43) <平成28年4月>	Writing Skills I Writing Skills II English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (64) <平成28年4月>	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis 教職実践演習C(中・高)
専	教授	ピーターセン マーク フレデリック PETERSEN MARK FREDERIC (71) <平成29年4月>	Reading Skills III Writing Skills III Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ササゲ トモオ 捧 富雄 (69) <平成30年4月>	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis Tourism Industry Tourism Management Tourism Information
専	教授	ヤマタ(イリモト) タカ 山田(煎本) 孝子 (70) <平成28年4月>	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ロバートソン ジェームス アール ROBERSON JAMES EARL (62) <平成28年4月>	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	教授 (学部長)	オカモト ヨシカズ 岡本 芳和 (44) <平成28年4月>	Writing Skills I Writing Skills II English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カ タヲ 岡 達哉 (48) <平成30年4月>
		Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English I Tourism English II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	カ フジミ 田中 富士美 (48) <平成28年4月>
専	准教授	International Testing I International Testing II Debate Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	カハシ ユウコ 高橋 優子 (47) <平成28年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	ハ イー アヒム ウェ Bayer, Achim Uwe (45) <平成28年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カ タヲ 岡 達哉 (46) <平成30年4月>
		Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English I Tourism English II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	カ フジミ 田中 富士美 (48) <平成28年4月>
専	准教授	International Testing I International Testing II Debate Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	講師	カノ ヒロ 栗野 萌 (34) <平成29年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	ハ イー アヒム ウェ Bayer, Achim Uwe (45) <平成28年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カ タヲ 岡 達哉 (47) <平成30年4月>
		Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English I Tourism English II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	カ フジミ 田中 富士美 (49) <平成29年4月>
専	准教授	International Testing I International Testing II International Testing III International Testing IV Debate Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	講師	カノ ヒロ 栗野 萌 (35) <平成29年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	准教授	ハ イー アヒム ウェ Bayer, Achim Uwe (46) <平成28年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	カ タヲ 岡 達哉 (48) <平成30年4月>
		Hospitality Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Hospitality Practice
専	教授	サイノウ ヒロ 齋藤 千恵 (54) <平成30年4月>
		Tourism English I Tourism English II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis Culture and Society in Tourism
専	教授	カ フジミ 田中 富士美 (50) <平成29年4月>
		International Testing I International Testing II International Testing III International Testing IV Debate Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
専	講師	カノ ヒロ 栗野 萌 (36) <平成29年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis Thought and Culture Global Issues
専	准教授	ハ イー アヒム ウェ Bayer, Achim Uwe (47) <平成28年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カガワ ヒサシ 小河 久志 (42) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	リンチ キヤビン リー LYNCH GAVIN LEIGH (39) <平成28年4月>
		Conversation Skills I Conversation Skills II Phrase and Expression Training II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
兼担	教授	サトウ ユキエ 佐藤 幸江 (64) <平成30年4月>
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)
兼担	教授	カケノ 賢一 高 賢一 (63) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) 教育相談の理論と方法(中等)
兼担	教授	カノ トシヒロ 河野 俊寛 (58) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	講師	アサカワ アツシ 浅川 淳司 (31) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	教授	ムライ マサオ 村井 万寿夫 (60) <平成29年4月>
		生徒・進路指導論(中等) 教育課程論(中等) 教育方法論(中等) 特別活動の理論と方法(中等)
兼担	准教授	カネモト ヤスヒロ 岡本 泰弘 (51) <平成30年4月>
		生徒・進路指導論(中等) ※ 特別活動の理論と方法(中等) ※
兼担	准教授	アサカワ モトキ 芥川 元喜 (42) <平成30年4月>
		教育課程論(中等) ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カガワ ヒサシ 小河 久志 (40) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	リンチ キヤビン リー LYNCH GAVIN LEIGH (39) <平成28年4月>
		Conversation Skills I Conversation Skills II Phrase and Expression Training II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
兼担	教授	サトウ ユキエ 佐藤 幸江 (62) <平成30年4月>
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)
兼担	教授	カケノ 賢一 高 賢一 (62) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) 教育相談の理論と方法(中等)
兼担	教授	カノ トシヒロ 河野 俊寛 (60) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	講師	アサカワ アツシ 浅川 淳司 (32) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	教授	ムライ マサオ 村井 万寿夫 (60) <平成29年4月>
		生徒・進路指導論(中等) 教育課程論(中等) 教育方法論(中等) 特別活動の理論と方法(中等)
兼担	准教授	カネモト ヤスヒロ 岡本 泰弘 (51) <平成30年4月>
		生徒・進路指導論(中等) ※ 特別活動の理論と方法(中等) ※
兼担	准教授	アサカワ モトキ 芥川 元喜 (42) <平成30年4月>
		教育課程論(中等) ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カガワ ヒサシ 小河 久志 (41) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	リンチ キヤビン リー LYNCH GAVIN LEIGH (40) <平成28年4月>
		Conversation Skills I Conversation Skills II Phrase and Expression Training II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
兼担	教授	サトウ ユキエ 佐藤 幸江 (63) <平成30年4月>
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)
兼担	教授	カケノ 賢一 高 賢一 (63) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) 教育相談の理論と方法(中等)
兼担	教授	カノ トシヒロ 河野 俊寛 (60) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	講師	アサカワ アツシ 浅川 淳司 (32) <平成29年4月>
		教育心理学(中等)
兼担	教授	ムライ マサオ 村井 万寿夫 (60) <平成29年4月>
		生徒・進路指導論(中等) 教育課程論(中等) 教育方法論(中等) 特別活動の理論と方法(中等)
兼担	准教授	カネモト ヤスヒロ 岡本 泰弘 (51) <平成30年4月>
		生徒・進路指導論(中等) ※ 特別活動の理論と方法(中等) ※
兼担	准教授	アサカワ モトキ 芥川 元喜 (42) <平成30年4月>
		教育課程論(中等) ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	カガワ ヒサシ 小河 久志 (42) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	リンチ キヤビン リー LYNCH GAVIN LEIGH (41) <平成28年4月>
		Conversation Skills I Conversation Skills II Phrase and Expression Training II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis
兼担	教授	サトウ ユキエ 佐藤 幸江 (64) <平成30年4月>
		介護等体験(事前・事後の指導を含む) ※
兼担	講師	オホノ 菜穂子 大島 菜穂子 (38) <平成30年4月>
		介護等体験(事前・事後の指導を含む) ※ 教育方法論(中等) ※ 教育学概論(中等) ※
兼担	教授	カケノ 賢一 高 賢一 (64) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) ※ 教育相談の理論と方法(中等)
兼担	教授	カノ トシヒロ 河野 俊寛 (61) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) ※
兼担	講師	アサカワ アツシ 浅川 淳司 (33) <平成29年4月>
		教育心理学(中等) ※
兼任	講師	ムライ マサオ 村井 万寿夫 (61) <平成29年4月>
		生徒・進路指導論(中等) ※ 教育課程論(中等) ※ 教育方法論(中等) ※ 特別活動の理論と方法(中等)
兼担	准教授	カネモト ヤスヒロ 岡本 泰弘 (51) <平成30年4月>
		生徒・進路指導論(中等) ※ 特別活動の理論と方法(中等) ※
兼担	准教授	アサカワ モトキ 芥川 元喜 (42) <平成30年4月>
		教育課程論(中等) ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	イカ ユキ 池田 幸應 (59) <平成31年4月>
		教職実践演習C(中・高)
兼担	教授	イカ ケンク 岩岡 研典 (59) <平成28年4月>
		スポーツ科学演習
兼担	教授	モトス ヒロシ 本康 宏史 (58) <平成28年4月>
		歴史学 金沢文化演習
兼担	教授	カイ ショウジ 河合 正二 (57) <平成28年4月>
		日本国憲法 法学
兼担	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (56) <平成28年4月>
		社会学 教育学概論(中等) 教育社会学(中等) 特別活動の理論と方法(中等)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	イカ ユキ 池田 幸應 (56) <平成31年4月>
		教職実践演習C(中・高)
兼担	教授	イカ ケンク 岩岡 研典 (59) <平成28年4月>
		スポーツ科学演習
兼担	教授	モトス ヒロシ 本康 宏史 (58) <平成28年4月>
		歴史学 金沢文化演習
兼担	教授	カイ ショウジ 河合 正二 (57) <平成28年4月>
		日本国憲法 法学
兼担	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (57) <平成28年4月>
		社会学 教育学概論(中等) 教育社会学(中等) <del>特別活動の理論と方法(中等)</del>
兼任	講師	マモリ ヒデトシ 衛 英敏 (59) <平成30年4月>
		特別活動の理論と方法(中等)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	イカ ユキ 池田 幸應 (57) <平成31年4月>
		教職実践演習C(中・高)
兼担	教授	イカ ケンク 岩岡 研典 (60) <平成28年4月>
		スポーツ科学演習
兼担	教授	モトス ヒロシ 本康 宏史 (59) <平成28年4月>
		歴史学 金沢文化演習
兼担	教授	イガ サチル 曾我 千春 (51) <平成29年4月>
		日本国憲法
兼担	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (58) <平成28年4月>
		社会学 教育学概論(中等) 教育社会学(中等) <del>特別活動の理論と方法(中等)</del>
兼任	講師	マモリ ヒデトシ 衛 英敏 (60) <平成30年4月>
		特別活動の理論と方法(中等)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	イカ ユキ 池田 幸應 (58) <平成31年4月>
		教職実践演習C(中・高)
兼担	教授	イカ ケンク 岩岡 研典 (61) <平成28年4月>
		スポーツ科学演習
兼担	教授	モトス ヒロシ 本康 宏史 (60) <平成28年4月>
		歴史学 金沢文化演習
兼担	講師	ツチノ ヒトシ 土屋 仁美 (39) <平成30年4月>
		日本国憲法
兼担	講師	ワタベ カズミ 渡邊 和道 (30) <平成30年4月>
		日本国憲法
兼担	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (59) <平成28年4月>
		社会学 教育学概論(中等)※ 教育社会学(中等) <del>特別活動の理論と方法(中等)</del>
兼任	講師	タケナカ ユウジ 竹中 祐二 (37) <平成30年4月>
		社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ハハ ハジム 馬場 治 (56) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	イノウエ アキヒロ 井上 明浩 (55) <平成29年4月>
		障害者教育
兼任	教授	ツジ ケンイチ 辻 建一 (55) <平成28年4月>
		Reading Skills I Reading Skills II 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼任	教授	シミス カズヒサ 清水 和久 (53) <平成28年4月>
		教職入門(中等) 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼任	教授	ナカムラ アキミ 中村 朱美 (53) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	キシモト ヒデカズ 岸本 秀一 (51) <平成28年4月>
		経営学
兼任	教授	カガ マサ 永坂 正夫 (48) <平成28年4月>
		自然科学概論 環境学
兼任	教授	オクダ テツヒト 奥田 鉄人 (45) <平成28年4月>
		健康・スポーツ科学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ハハ ハジム 馬場 治 (56) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	イノウエ アキヒロ 井上 明浩 (55) <平成29年4月>
		障害者教育
兼任	教授	ツジ ケンイチ 辻 建一 (55) <平成28年4月>
		Reading Skills I Reading Skills II 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼任	教授	シミス カズヒサ 清水 和久 (53) <平成28年4月>
		教職入門(中等) 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼任	教授	ナカムラ アキミ 中村 朱美 (54) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	キシモト ヒデカズ 岸本 秀一 (51) <平成28年4月>
		経営学
兼任	教授	カガ マサ 永坂 正夫 (49) <平成28年4月>
		自然科学概論 環境学
兼任	教授	オクダ テツヒト 奥田 鉄人 (45) <平成28年4月>
		健康・スポーツ科学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ハハ ハジム 馬場 治 (57) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	イノウエ アキヒロ 井上 明浩 (56) <平成29年4月>
		障害者教育
兼任	教授	ツジ ケンイチ 辻 建一 (56) <平成28年4月>
		Reading Skills I Reading Skills II 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼任	教授	シミス カズヒサ 清水 和久 (54) <平成28年4月>
		教職入門(中等) 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼任	教授	ナカムラ アキミ 中村 朱美 (55) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	キシモト ヒデカズ 岸本 秀一 (52) <平成28年4月>
		経営学
兼任	教授	カガ マサ 永坂 正夫 (50) <平成28年4月>
		自然科学概論 環境学
兼任	教授	オクダ テツヒト 奥田 鉄人 (46) <平成28年4月>
		健康・スポーツ科学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ハハ ハジム 馬場 治 (58) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	イノウエ アキヒロ 井上 明浩 (57) <平成29年4月>
		障害者教育
兼任	教授	ツジ ケンイチ 辻 建一 (57) <平成28年4月>
		Reading Skills I Reading Skills II 英米文学/English and American Literature American Society and Culture European Society and Culture
兼任	講師	ユキ マサミ 結城 正美 (48) <平成30年4月>
		American Society and Culture
兼任	教授	シミス カズヒサ 清水 和久 (55) <平成28年4月>
		教職入門(中等) 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼任	教授	ナカムラ アキミ 中村 朱美 (56) <平成28年4月>
		日本文学
兼任	教授	キシモト ヒデカズ 岸本 秀一 (53) <平成28年4月>
		経営学
兼任	講師	クニモト コウキ 国本 浩喜 (66) <平成30年4月>
		自然科学概論
兼任	講師	ウライ タツ 櫻井 武 (67) <平成30年4月>
		環境学
兼任	教授	オクダ テツヒト 奥田 鉄人 (47) <平成28年4月>
		健康・スポーツ科学概論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	ジヨマダ ル ナシル ジヨマダ ル ナシル (59) <平成31年4月> International Development
兼任	准教授	コイ フロ 小磯 千尋 (58) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼任	准教授	モリ ノブエ 森 延江 (54) <平成28年4月> Phrase and Expression Training III Phrase and Expression Training IV Translation Practice I Translation Practice II
兼任	准教授	ササキ ヤスナリ 佐々木 康成 (45) <平成28年4月> 心理学 情報リテラシー 情報学
兼任	講師	エダムラ ショウヘイ 枝村 祥平 (39) <平成28年4月> 哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	カイ キコ 坂井 紀公子 (46) <平成28年4月> 人文地理学/Human Geography
兼任	講師	カウ ケイコ 加藤 隆宏 (44) <平成30年4月> 基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture Thought and Culture Global Issues
兼任	講師	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (40) <平成30年4月> Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼任	講師	コシ ケンゴ 小西 賢吾 (36) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ジヨマダ ル ナシル ジヨマダ ル ナシル (56) <平成31年4月> International Development
兼任	准教授	コイ フロ 小磯 千尋 (58) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼任	准教授	モリ ノブエ 森 延江 (54) <平成28年4月> Phrase and Expression Training III Phrase and Expression Training IV Translation Practice I Translation Practice II
兼任	准教授	ササキ ヤスナリ 佐々木 康成 (45) <平成28年4月> 心理学 情報リテラシー 情報学
兼任	講師	エダムラ ショウヘイ 枝村 祥平 (39) <平成28年4月> 哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	カイ キコ 坂井 紀公子 (46) <平成28年4月> 人文地理学/Human Geography
兼任	講師	カウ ケイコ 加藤 隆宏 (44) <平成30年4月> 基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture Thought and Culture Global Issues
兼任	准教授	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (38) <平成30年4月> Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼任	講師	コシ ケンゴ 小西 賢吾 (36) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ジヨマダ ル ナシル ジヨマダ ル ナシル (57) <平成31年4月> International Development
兼任	准教授	コイ フロ 小磯 千尋 (59) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼任	准教授	モリ ノブエ 森 延江 (55) <平成28年4月> Phrase and Expression Training III Phrase and Expression Training IV Translation Practice I Translation Practice II
兼任	教授	ササキ ヤスナリ 佐々木 康成 (46) <平成28年4月> 心理学 情報リテラシー 情報学
兼任	教授	エダムラ ショウヘイ 枝村 祥平 (40) <平成28年4月> 哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	カイ キコ 坂井 紀公子 (47) <平成28年4月> 人文地理学/Human Geography
		後任未定
		基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture
兼任	准教授	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (39) <平成30年4月> Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼任	講師	コシ ケンゴ 小西 賢吾 (37) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	ジヨマダ ル ナシル ジヨマダ ル ナシル (58) <平成31年4月> International Development
兼任	准教授	コイ フロ 小磯 千尋 (60) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture Hinduism and Culture
兼任	准教授	モリ ノブエ 森 延江 (56) <平成28年4月> Phrase and Expression Training III Phrase and Expression Training IV Translation Practice I Translation Practice II
兼任	教授	ササキ ヤスナリ 佐々木 康成 (47) <平成28年4月> 心理学 情報リテラシー 情報学
兼任	教授	エダムラ ショウヘイ 枝村 祥平 (41) <平成28年4月> 哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	カイ キコ 坂井 紀公子 (48) <平成30年4月> 基礎ゼミナール 文化人類学/Cultural Anthropology 人文地理学/Human Geography African Society and Culture 社会調査論
兼任	講師	タムラ ウララ 田村 うちら (39) <平成30年4月> Asian Society and Culture※
兼任	講師	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (39) <平成30年4月> Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼任	准教授	コシ ケンゴ 小西 賢吾 (38) <平成28年4月> 基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues Asian Society and Culture ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	カスミ アツシ 川澄 厚志 (35) <平成28年4月>
		観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼任	講師	イノ タケ 石野 卓也 (34) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	講師	カモト サトシ 川本 智史 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	クラッスン マーシャル Klassen Marshall (34) <平成28年4月>
		Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼任	講師	ハタケ シンイチ 花田 真一 (34) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	助教	マルイ カズマサ 丸井 一誠 (34) <平成28年4月>
		健康科学演習
兼任	助教	チョウ リン 張 琳 (30) <平成28年4月>
		経済学/Economics
兼任	講師	コサカ オサム 小坂 修 (69) <平成30年4月>
		European Society and Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	カスミ アツシ 川澄 厚志 (35) <平成28年4月>
		観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼任	准教授	イノ タケ 石野 卓也 (34) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	講師	カモト サトシ 川本 智史 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	クラッスン マーシャル Klassen Marshall (34) <平成28年4月>
		Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼任	准教授	ハタケ シンイチ 花田 真一 (34) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	助教	マルイ カズマサ 丸井 一誠 (34) <平成28年4月>
		健康科学演習
兼任	講師	チョウ ミヨウ 張 淼 (30) <平成29年4月>
		経済学/Economics
兼任	講師	コサカ オサム 小坂 修 (67) <平成30年4月>
		European Society and Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	カスミ アツシ 川澄 厚志 (36) <平成28年4月>
		観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼任	准教授	イノ タケ 石野 卓也 (35) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	講師	カモト サトシ 川本 智史 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	マイケル キナン Micheal Keenan (39) <平成29年4月>
		Writing Skills I Writing Skills II Writing Skills III Writing Skills IV
兼任	講師	クラッスン マーシャル Klassen Marshall (35) <平成28年4月>
		Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼任	准教授	ハタケ シンイチ 花田 真一 (35) <平成28年4月>
		統計学 ※
兼任	助教	マルイ カズマサ 丸井 一誠 (35) <平成28年4月>
		健康科学演習
兼任	講師	チョウ ミヨウ 張 淼 (31) <平成29年4月>
		経済学/Economics
兼任	講師	コサカ オサム 小坂 修 (68) <平成30年4月>
		European Society and Culture

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	カスミ アツシ 川澄 厚志 (37) <平成28年4月>
		観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼任	教授	シン ヒロキ 新 広昭 (62) <平成30年4月>
		統計学
兼任	講師	カモト サトシ 川本 智史 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	マイケル キナン Micheal Keenan (40) <平成29年4月>
		Writing Skills I Writing Skills II Writing Skills III Writing Skills IV
兼任	講師	クラッスン マーシャル Klassen Marshall (36) <平成28年4月>
		Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ Academic Writing
兼任	講師	フォード ブライアン Bryan Ford (31) <平成30年4月>
		Writing Skills I Writing Skills II Writing Skills III Writing Skills IV
兼任	助教	マルイ カズマサ 丸井 一誠 (36) <平成28年4月>
		健康科学演習
兼任	講師	チョウ ミヨウ 張 淼 (32) <平成29年4月>
		経済学/Economics

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	ハカ タモン 羽賀 多聞 (67) ＜平成28年4月＞
		基礎数学
兼任	講師	キムラ ハルヒコ 木村 春彦 (64) ＜平成28年4月＞
		コミュニケーション概論
兼任	講師	ホンダ ミル 本田 実 (64) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マルヤマ アツシ 丸山 敦 (62) ＜平成28年4月＞
		歴史学
兼任	准教授	ヨコノ ナルミ 横野 成美 (57) ＜平成28年4月＞
		International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice I Interpretation Practice II
兼任	講師	イナカ マサミ 池中 雅美 (55) ＜平成29年4月＞
		Phonetics
兼任	講師	リチャード ブライアン カーティス Richard Braian Curtis (55) ＜平成29年4月＞
		Business English I Business English II
兼任	講師	アサキ タツ 青木 賢人 (46) ＜平成28年4月＞
		自然地理学
兼任	講師	キムラ タカヒロ 木村 高宏 (42) ＜平成28年4月＞
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	ハカ タモン 羽賀 多聞 (67) ＜平成28年4月＞
		基礎数学
		後任未定
兼任	講師	ホンダ ミル 本田 実 (63) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マツタ リョウヘイ 松下 良平 (57) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マルヤマ アツシ 丸山 敦 (63) ＜平成28年4月＞
		歴史学
兼任	准教授	ヨコノ ナルミ 横野 成美 (57) ＜平成28年4月＞
		International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice I Interpretation Practice II
兼任	講師	イナカ マサミ 池中 雅美 (54) ＜平成29年4月＞
		Phonetics
兼任	講師	リチャード ブライアン カーティス Richard Braian Curtis (53) ＜平成29年4月＞
		Business English I Business English II
兼任	講師	アサキ タツ 青木 賢人 (46) ＜平成28年4月＞
		自然地理学
兼任	講師	キムラ タカヒロ 木村 高宏 (42) ＜平成28年4月＞
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	ハノ カズオ 羽野 和夫 (73) ＜平成29年4月＞
		基礎数学
		後任未定
兼任	講師	ホンダ ミル 本田 実 (64) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マツタ リョウヘイ 松下 良平 (58) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マルヤマ アツシ 丸山 敦 (64) ＜平成28年4月＞
		歴史学
兼任	准教授	ヨコノ ナルミ 横野 成美 (58) ＜平成28年4月＞
		International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice I Interpretation Practice II
兼任	講師	イナカ マサミ 池中 雅美 (55) ＜平成29年4月＞
		Phonetics
兼任	講師	リチャード ブライアン カーティス Richard Braian Curtis (54) ＜平成29年4月＞
		Business English I Business English II
兼任	講師	アサキ タツ 青木 賢人 (47) ＜平成28年4月＞
		自然地理学
兼任	講師	キムラ タカヒロ 木村 高宏 (42) ＜平成28年4月＞
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	ハノ カズオ 羽野 和夫 (74) ＜平成29年4月＞
		基礎数学
兼任	講師	ホシハ ビコ 干場 久男 (64) ＜平成30年4月＞
		基礎数学
兼任	講師	ヘレン ビゼット Helen Bissett (49) ＜平成30年4月＞
		Conversation Skills I
兼任	講師	ナカガワ マサシ 中川 将志 (49) ＜平成30年4月＞
		コミュニケーション概論
兼任	講師	ホンダ ミル 本田 実 (65) ＜平成29年4月＞
		道徳教育の理論と方法(中等)
兼任	講師	マルヤマ アツシ 丸山 敦 (65) ＜平成28年4月＞
		歴史学
兼任	准教授	ヨコノ ナルミ 横野 成美 (59) ＜平成28年4月＞
		International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice I Interpretation Practice II
兼任	講師	イナカ マサミ 池中 雅美 (56) ＜平成29年4月＞
		Phonetics
兼任	講師	リチャード ブライアン カーティス Richard Braian Curtis (55) ＜平成29年4月＞
		Business English I Business English II
兼任	講師	アサキ タツ 青木 賢人 (48) ＜平成28年4月＞
		自然地理学
兼任	講師	キムラ タカヒロ 木村 高宏 (43) ＜平成28年4月＞
		政治学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	サトウ フカ 佐藤 福子 (42) <平成28年4月>
		Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	サトウ フカ 佐藤 福子 (42) <平成28年4月>
		Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	サトウ フカ 佐藤 福子 (43) <平成28年4月>
		Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	サトウ フカ 佐藤 福子 (44) <平成28年4月>
		Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

- (注)
- ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス授業に変更のため川村義治教授の担当科目追加。平成28年6月に変更書提出予定。
- 平成27年10月高橋優子准教授就任辞退により栗野萌講師に変更。平成27年12月教員審査済み。
- 本人妊娠の為、栗野萌講師就任年月を29年4月に変更。
- 平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス方式に変更し、河野俊寛教授、浅川淳司講師を担当者として追加。
- 平成27年11月教職課程認定申請時において井上好人教授不可の為、担当者を変更しオムニバス方式に変更。村井万寿夫教授、衛英敏講師を担当者として追加。
- 平成28年4月ジョマダルナシル准教授、昇任により職名を教授に変更。
- 平成28年4月佐野浩祥講師、昇任により職名を准教授に変更。
- 平成28年4月石野卓也講師、昇任により職名を准教授に変更。
- 平成28年4月花田真一講師、昇任により職名を准教授に変更。
- 平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス方式に変更し、松下良平講師を担当者として追加。

【平成29年度】

- 平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス授業に変更のため川村義治教授の担当科目追加。平成28年8月教員審査済み。
- 田中富士美准教授担当科目追加。平成29年6月教員審査済み。
- 平成29年4月所属学部の都合により、河合正二教授から曾我千春教授に担当者変更。
- 平成29年4月佐々木康成准教授、昇任により職名を教授に変更。
- 平成29年4月枝村祥平講師、昇任により職名を教授に変更。
- 平成28年6月加藤隆宏講師、他大学就任のため辞退により、栗野萌講師に2科目変更。平成29年6月教員審査済み。基礎ゼミナールは他に担当者が複数いるため支障なし。後任未定のAsian Society and Culture, Hinduism and Cultureは担当者を平成30年4月に兼任教員採用予定。
- 平成29年4月Micheal Keenan講師を兼任として追加。
- 平成29年3月張琳助教退職により就任辞退のため、平成29年4月張森講師に担当変更。
- 平成29年3月羽賀多聞講師就任辞退により平成29年4月羽野和夫講師に担当変更。
- 平成29年3月木村春彦講師担当辞退により平成29年11月に兼任教員にて担当予定。(後任未定)

【平成30年度】

- 川村義治教授平成30年3月31日学部長任期終了。
- 岡達哉准教授就任辞退。榑富雄教授担当科目追加。(平成29年12月教員審査済み。)
- 岡本芳和教授平成30年4月学部長就任。
- 岡達哉准教授就任辞退。平成30年4月齋藤千恵教授に変更。(平成29年12月教員審査済み。)
- 岡達哉准教授就任辞退。専任から兼任に変更。
- 平成30年4月大畠菜穂子講師を兼任として追加。
- 村井万寿夫教授平成30年3月31日退職により、兼任から兼任に変更。担当科目「生徒・進路指導論(中等)」をオムニバス方式に変更し、岡本泰弘准教授を担当者として追加。
- 村井万寿夫教授平成30年3月31日退職により、兼任から兼任に変更。担当科目「教育課程論(中等)」をオムニバス方式に変更し、芥川元喜准教授および大畠菜穂子講師を兼任として追加。
- 「介護等体験(事前・事後の指導を含む)」をオムニバス方式に変更。
- 「教育心理学(中等)」をオムニバス形式に変更。
- 「生徒・進路指導論(中等)」「教育課程論(中等)」「教育方法論(中等)」をオムニバス形式に変更。
- 「教育学概論(中等)」をオムニバス形式に変更。
- 平成30年4月土屋仁美講師を兼任として追加。
- 平成30年4月渡邊和道講師を兼任として追加。
- 平成30年4月竹中祐二講師を兼任として追加。
- 平成30年4月結城正美講師を兼任として追加。
- 平成30年4月国本浩喜講師を兼任として追加。
- 平成30年4月櫻井武講師を兼任として追加。
- 平成30年4月田村うらら講師を兼任として追加。
- 佐野浩祥准教授平成30年3月退職のため、担当を岡達哉教授および齋藤千恵教授に変更。(平成29年12月教員審査済み。)
- 兼任の小坂修講師から担当を兼任の辻建一教授に変更。
- 花田真一准教授平成30年3月退職のため、担当者変更、平成30年4月新広昭教授を兼任として追加。
- 平成30年4月小西賢吾講師、昇任により職名を准教授に変更。担当科目追加。
- 平成30年4月川澄厚志講師、昇任により職名を准教授に変更。
- 平成30年4月干場久男講師を兼任として追加。
- 平成30年4月新広昭教授を兼任として追加。
- 平成30年4月クラススマーシャル講師の担当科目追加。
- 平成30年4月フォードブライアン講師を兼任として追加。
- 平成30年4月ヘレンビセット講師を兼任として追加。
- 平成29年3月木村春彦講師担当辞退により、後任未定であったが、平成30年4月中川将志講師を兼任に追加。
- 平成30年3月松下良平講師担当辞退。
- 小磯准教授担当科目追加。

- (注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
6	6	0	0	12	7	4	1	0	12	7	4	1	0	12
4	4	0	0	8						[ 1 ]	[ Δ ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、  
 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、  
 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている  
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入  
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{3}{12} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	高橋 優子	必修	基礎ゼミナール	①	他大学就任のため就任辞退（28）	
			選択	宗教学/Religious Studies	①		
			選択	比較文化	①		
			選択	Religion and Culture	①		
			選択	Christianaty and Culture	①		
			必修	Major Study Seminar I	①		
			必修	Major Study Seminar II	①		
			必修	Graduation Thesis	①		
2	准教授	岡 達哉	選択	Hospitality	②	教員間のトラブルのため就任辞退（30）	
			選択	Tourism Industry	①		
			選択	Tourism Management	①		
			選択	Tourism Information	①		
			選択	Tourism English I	①		
			選択	Tourism English II	①		
			必修	Major Study Seminar I	①		
			必修	Major Study Seminar II	①		
			必修	Graduation Thesis	①		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	10 科目	選択	9 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	10 科目	選択	9 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{12} = 16.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 高橋優子准教授については、後任者は辞退者が担当予定していた全授業科目を引き継ぎ担当することとなり、そのすべての授業科目について「可」の判定を受けて、シラバス及び時間割はそのまま引き継ぐことができ、それぞれ後任者の氏名を入れることができた。「学生への周知方法」入学者が少数のため未開講としたことにより周知の必要性がなくなった。</p> <p>「大学の所見」 岡達哉准教授については、後任者は辞退者が担当予定していた必修授業科目を引き継ぎ担当することとなり、そのすべての科目について「可」の判定を受けて、シラバス及び時間割はそのまま引き継ぐことができ、それぞれ後任者の氏名を入れることができた。その他の科目については、他の専任教員(引継ぎ科目について「可」の判定)と兼任教員で引き継ぎ担当することとなった。「学生への周知方法」全学生には、履修登録時に時間割とともに周知した。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (28年4月)	<p>1. 学生の英語力に            応じグレード別にクラス            編成し、IELTS6.0点と            いう到達目標を設定し            ているが、英語力の低            い学生も含め全ての学            生がこの到達目標を達            成できるよう、以下の            点について学習効果が            最大限発揮できるよう            留意し、必要であれば            計画を修正すること。</p> <p>(1)「英語カステップ            アッププログラム            (ESP)」について、グ            レード別の具体的な指            導内容及びプログラ            ムの全体像について整            理し、学生に広く周知            すること。</p> <p>(2) ESPによる履修を            経ても次のグレードク            ラスへのステップアッ            プが難しい場合にe-            learning等学生が自            学自習できる設備を整            備し、正課外での学生            の自発的な英語活用能            力の向上を図るとして            いるが、これらの設備            を導入するに当たり必            要な機器やシステム等            について十分に検討し            、学生に広く周知す            ること。</p>	<p style="color: red;">留意事項</p> <p>(1) 入学直後の1泊2日新            入生研修では、「英語カ            ステップアッププログラ            ム(ESP)」に関する説            明を行った。まず新入            生に学習の心構えを説            きESPの全体的な仕組            みや各レベルの内容、学            習の仕方を説明した。            また、各クォーター終            了後は、毎回全学生を            対象にガイダンスを開            いて学習成果を振り返            り、次の達成目標とそ            の方法を確認する。さ            らに2年次の留学終了            後にも同様のガイダン            スを実施して学生の学            習を継続的に支援して            いく。</p> <p style="text-align: right;">履行済</p> <p>(2) 次のグレードへス            テップアップが難しい            学生については、正規            の授業内で解決できな            かった問題に関して各            科目の担当教員が手厚            く指導を行い、学生の            学力向上を支援する。            具体的には、教員が決            められた時間帯にラ            ーニングcommonsと            呼ばれる学生ラウンジ            で待機して、学生の学            習上の多様な問題に            答えて助言及び指導            をしていく。また、e-            learningの施設(パ            ソナルーム)・設備(W            i-Fi環境)は校舎内に            十分に準備されており            、すべての学生が気軽            に利用できる体制にな            っている。e-learning            については、校舎内の            パソコンに語彙の学習            ができるサイトやリス            ニングに役立つサイト            がインストールされて            おり、いつでも学習を            サポートする環境にあ            る。また、ベネッセコー            ポレーションAcademic            English Training講座            (1か月コース)を各            学生に用意しており、            留学直前に学習でき            るように準備している。</p>	<p>(1) 次年度以降はESPに            関する説明を学生便覧            に記載する予定である。</p>

<p>(3) 次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対し、英語力の高い職員を配置して学習方法のアドバイス、サポートを行うとしているが、効果的な学習指導を行うためには単に指導者の学力だけでなく、指導する上で適切な教授法を身につけていることが必要と思われる。職員による学習指導で十分な英語活用能力の向上効果が得られるか検証し、必要に応じて教員による学習指導を行うことを検討すること。</p>	<p>(3) 次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対しては、職員ではなく各科目担当教員が学習内容や学習方法に関して継続的に指導していく。教員が時間を設定して当該学生を個別に指導し、学習内容の理解度、課題の進捗状況、学習方法の改善等に関して細かく指導する。必要ならば当該学生と関わる他の教員と連携をとって学習向上を支援していく。</p>	<p>履行済</p>
<p>2. 完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p> <p>○教養科目のうち英語で授業を行う科目が人文系社会系に偏っているが、学生が興味を持った分野の科目が幅広く英語で開講されていることが望ましいと考えられるので、検討すること。</p> <p>○社会調査について取り扱う「社会調査論」が追加されたが、その内容は「調査法」そのものを学ばせる内容になっていないので、さらにフィールドワークの入門的位置付けとなるような演習や実習を取り扱うことが望ましい。</p>	<p>留意事項</p> <p>○教養科目の興味が人文・社会系以外にある学生については、留学先大学の受講指導に際して本学の開講科目と同一又は同一とみなされる履修内容の人文・社会系以外の科目を優先して履修するように案内及び指導を実施する。</p> <p>○フィールドワークに関する科目については、「社会調査論」を社会調査に関する概論的内容とし、「比較文化調査演習」を、調査法を実地で学ぶ入門的科目と位置づけている。これらの科目の内容を総合し、さらに発展させた科目が、より専門的なトピックを扱う「能登フィールド演習」と「金沢文化演習」であると位置づけている。</p>	<p>2. 任期満了後は、公募で退任者と同等の教育研究業績をもつ者の採用、または新学部及び既存学部の中堅・若手教員を人材育成して登用することを計画している。</p> <p>○配当年次が2年3クォーターからのため、左記状況で不十分な場合は、自然系科目を中心として担当教員が手配できる場合は英語での開講を再検討する。</p> <p>未履行</p> <p>履行済</p> <p>履行済</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (29年2月)</p>	<p>人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>2年目の入試は、実質的な英語能力を評価できるよう外部の資格試験を導入し、設置の趣旨・目的を達成するための入試を実施した。志願者数は、実人数で3人減少する結果となった。合格ラインは、昨年度より上回る場所としたが、合格者の人数は、36人増え137人となった。入学者の確保を優先するという考えではなく、アドミッションポリシーに則した入学者確保の観点から入学定員の確保に努めたが、入学者は前年度から1人増えた37人とどまったが、入学者の学力レベルは向上していると言える。次の学生募集について、留学した学生による体験談や具体的な数値に基づいた語学力の伸びを示すことで、学習成果の周知を行い、志願者の量的拡大を実現する。</p>	<p>履行済</p>
	<p>人文学部国際文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>任期満了後は、退職者と同等の教育研究業績の教育職員を採用する。あわせて人文学部及び既存学部の中堅若手教育職員を育成して登用することを計画している。</p>	<p>未履行</p>

<p>設置計画履行状況調査時 (30年2月)</p>	<p>人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>入学者増加策として、人文学部の学生募集に特化したチームを教育職員と事務職員により結成した。チームでは学生募集担当、広報担当、制度担当等の役割を担当し、入学者増加のための活動を行った。学生募集活動として、留学から帰国した学生による海外留学の体験談や異文化に対する理解と英語力アップについて、昨年度までできなかった具体的な学部の取組について高校生や高等学校に訴求することができた。また、入試制度として英語の評定値を考慮した指定校推薦の導入を行った。留学体験談に基づいた帰国学生の留学パンフレットを2月以降の学生募集と入試の合格者へ配布し、志願・入学者増加のための対策を行った。結果として、平成30年度入試では総志願者数は345名、入学者は60名となり入学定員の80%を確保することができた。</p>	<p>履行済</p>
	<p>人文学部国際文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>		<p>未履行</p> <p>任期満了後は、公募で退任者と同等の教育研究業績をもつ者の採用、または新学部及び既存学部の中堅・若手教員を人材育成して登用することを計画している。</p>
	<p>同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部スポーツ学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>収容定員増の学則変更の認可申請を行い、平成30年度入試では、入学定員超過の改善を行った。入学定員75名に対して76名の入学者となった。</p>	<p>履行済</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <人文学部 国際文化学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜の選考方法 既存学部共通の国語、英語①に加え難易度の高い長文総合問題や英作文問題で構成する英語②を課すことで、高度な英語能力を判定する。</p> <p>② 学外実習の具体的計画 海外留学前の事前指導として、重点海外留学地域であるアジア地域において英語を公用語としていない国への留学を想定し、日常生活において支障のないように夏季休業期間を利用して約10週間の現地語ネイティブ教員による現地語を学ぶプログラムを整えている。</p>	<p>① 本学が指定する英語系資格等の取得者に対する優遇策を講じることで英語能力の高い志願者を獲得する。基準を満たす志願者には満点の1割を加算する。</p> <p>② 設置時の計画どおりアジア方面の留学を積極的に推進し、平成29年度は、6名がマレーシア、4名がフィリピン、1名が台湾へ留学した。平成29年度は英語を公用語としていない国への留学地として台湾への留学が決定した学生がいたため、現地語（中国）を学ぶプログラムを出発までの約2か月間集中で実施した。アジア地域は、継続して重点海外留学地域とするため、平成30年度以降においても具体的計画として実施していく予定である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 国際文化学科長により学科会議を開催している。学科会議は、FDを含め学科の運営について検討し具体的な対策を検討している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第2水曜日の14時35分から16時05分（4限目の時間帯）の時間帯を定例で行っている。FD活動を含めていることと、より具体的な検討を要することから、16時05分以降も学科会議を開催できるよう教員の時間割を調整している。第2水曜日に開催できない場合は、第3水曜日の同時時間帯に開催することができる。学科による検討機会を十分に確保しており、海外出張等の研究活動もしくは業務以外での欠席者はなく、ほぼ全員が出席している。1年次においては英語教育に重点が置かれているため、教養教育部の英語担当者も内容により参加している。平成29年度は、研究活動を重視する8月と3月以外は毎月開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生研修の実施方法や研修内容に関して</li> <li>・ 学生による授業アンケートの実施と結果に関して</li> <li>・ 留学に関するアンケートとその結果について</li> <li>・ 英語による卒業論文作成のための指導内容に関して</li> <li>・ 帰国後の指導方法に関して</li> <li>・ 高大連携に関して（英語活動を行う高等学校との連携）</li> </ul>
--

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・高等学校からの依頼による国際理解に関する講演会と留学体験談の内容の検討と実施に関すること
- ・学部1期生の留学報告会の実施に関すること
- ・保護者に対する留学ガイダンスの実施に関すること
- ・留学までの英語教育に関すること
- ・留学先の決定に関すること
- ・専門ゼミの決定、運営、卒業論文の指導に関すること等

### b 実施方法

学科長により喫緊の課題や次年度の準備等、具体的な対応について学科内で確認し、課題に関して改善と対策を行うため、学科長が招集し実施している。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

第2もしくは第3の水曜日の学長が定めた時間帯に実施している。開催可能な日を複数日設定しており、海外出張等がない限り、ほぼ全員が参加している。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

結果により、担当者レベルで改善が可能な場合は、学科会議とは別に担当者間で検討するなどして改善策を検討し、実施している。内容により学科会議で検討するなどの改善策を議論し、課題を共有して改善のための取組を行っている。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

前期、後期の区分により年間4回（5・7・11・1月の各月下旬）実施している。セメスター科目は、5・11月を中間的にアンケートを行い、結果を後半の授業運営に活用し、7・1月はセメスター及びクォーター科目の総括的なアンケートとして実施している。クォーター科目においては、セメスター科目の中間にあたる5・11月も総括的なアンケートとして実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの回答は、学務システムを使用することからアンケート結果も学務システムにより学生へ公開している。教員は、担当する科目の結果を確認し、授業改善に活用している。公開内容は、設問項目ごとに円グラフで表示され、結果を一目でわかりやすく表示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

初年度である平成28年度入試は、定員75名に対して総志願者は329名のうち入学者は36名（女子30名男子6名）であった。出願要件に英語資格等の保持を課しているが、初年度は経過措置として資格を有しない志願者にも受験を認めた。民間業者の資料によれば、入学者の偏差値は50.0であった。入学定員確保の観点から、平成29年度入試では推薦入試は資格保持の条件を課したが、それ以外の入試では資格保持を受験資格とはしなかった。ただし、資格保持者には配点の1割を加算するという措置を講じた。総志願者は305名、入学者は37名（女子27名男子10名）で、結果的に入学者確保の観点では平成28年度入試からの改善をはかることができなかった。入学者増加策として、人文学部の学生募集に特化したチームを教育職員と事務職員により結成した。チームでは学生募集担当、広報担当、制度担当等の役割を担当し、入学者増加のための活動を行った。学生募集活動として、留学から帰国した学生による海外留学の体験談や異文化に対する理解と英語力アップについて、昨年度までできなかった具体的な学部の取組について高校生や高等学校に訴求することができた。また、入試制度として英語の評定値を考慮した指定校推薦の導入を行った。留学体験談に基づいた帰国学生の留学パンフレットを2月以降の学生募集と入試の合格者へ配布し、志願・入学者増加のための対策を行った。結果として、平成30年度入試では総志願者数は345名、入学者は60名（女子49名男子11名）となり入学定員の80%を確保することができた。

また、新入生は国際英語力判定試験であるIELTSのレベルに応じてクラス分けされ、英語力向上に向けて英語学習に取り組んだ。第1期生が受験した第1回目のIELTS(6月)では、IELTS overall 4.0が1名、4.5が6名、5.0が21名、5.5が6名、6.0が2名、第2回目のIELTS(8月)では、4.5が5名、5.0が17名、5.5が13名、6.0が1名という結果となった。この結果から、ある程度の英語力の底上げはできたと思われるが、上位層の飛躍的な英語力アップは見られなかった(IELTS 5.5以上の保有率が6月から8月にかけて22%から39%へと少し上昇)。学生は、学力結果に応じて、学部留学、ブリッジコース、Academic English Course、語学研修に分けられた。第2期生が受験した第1回目のIELTS(6月)では、IELTS overall 4.0が2名、4.5が17名、5.0が13名、5.5が4名、6.0が1名、第2回目のIELTS(8月)では、4.5が4名、5.0が20名、5.5が11名、6.0が2名という結果となった。

入学者が全員1年次に在籍中に早期留学をするという趣旨に沿って、第1期生36名が平成29年1月より留学に出発。アイルランドの協定校に11名、オーストラリアに10名、カナダに8名、アメリカに3名、ニュージーランドに3名、ハンガリーに1名留学した。そのうち27名が第2クォーター開始日(6月14日)までに帰国。最長の学生は8月18日帰国した。当初の予定ではアジア方面の留学を積極的に進めていくはずであったが、留学を予定していたマレーシアの大学からの突然のプログラム変更の通知があり、留学を希望していた4名の学生は欧米圏に留学先を変更しなければならない状況となった。第2期生37名は、平成30年1月より留学に出発。アイルランドの協定校に11名、オーストラリアに2名、カナダに8名、アメリカに1名、ニュージーランドに2名、ハンガリーに1名、チェコ共和国に1名、マレーシアに6名、フィリピンに4名、台湾に1名留学した。当初の予定であったアジア方面にも約3分の1の学生を送り出した。

帰国後の英語力の伸びを測るため、第1期生は全員が帰国後に第3回目のIELTS(9月)を受験し、IELTS overall 5.0が6名、5.5が23名、6.0が6名、6.5が1名という結果となった。約80%の学生が入学当初から0.5以上の伸びとなった。また留学を終えた第1期生は帰国後、留学中に得た価値観の変化や、他の国・文化・言語に対する興味も増加し、自分自身で計画を立てた旅行や、県が企画した国連での研修企画に応募採択されるなど、異文化理解の面でも想定以上の効果が得られていると評価できる。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

・平成30年7月31日(火)

##### b 公表方法

・本学のwebサイト上で公表予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けることで学内において決定している。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 6月 1日 ）

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。